

5月12日は
民生委員・児童委員
の日です。

●●● ご存知ですか？地域の身近な相談相手 ●●●

民生委員・児童委員

☎ 福祉総務課(☎62-1012)

民生委員は、社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行う非常勤の地方公務員です。また、全ての民生委員は児童委員も兼ねており、子育てなどに関する相談も行っています。また、委員の中で児童福祉に関する事項を専門に担当する主任児童委員がいます。

活動内容

地域の人への見守り

行政や地域から寄せられた情報を基に、担当区域に住むひとり暮らしの高齢者や障害者などの支援が必要な人の把握に努め、日頃からの見守りや必要に応じた訪問をしています。

市民と行政をつなぐ

困っている人がいれば、地域のサービスや行政の新しい仕組みを紹介したり、説明したり、福祉の関係機関につないだりします。



担当区域

- ・高齢者のいる世帯
- ・障害者のいる世帯
- ・生活に困窮している世帯
- ・子どものいる世帯
- ・妊産婦のいる世帯
- ・母子・父子世帯
- ・その他の世帯

世帯状況把握

担当区域内の住民の実態や福祉ニーズの把握

情報提供

必要な社会福祉制度やサービスの情報提供

相談・援助

- ・各種相談
- ・見守り支援
- ・福祉サービス利用支援

民生委員・児童委員

地域担当

連携

協力

主任児童委員

連携

協力

関係機関

- ・刈谷市
- ・社会福祉協議会
- ・地域包括支援センター
- ・障害者支援センター
- ・子ども相談センター
- ・児童相談センター
- ・保健所
- ・保健センター
- ・教育委員会
- ・学校、幼稚園
- ・保育所
- ・医療機関 など

困った時は相談してください

高齢者に関すること

- 医療や介護
- 居場所づくり
- 声掛け、安否確認

子どもに関すること

- 子育ての悩み
- 妊娠、出産の不安
- いじめ、不登校

障害者に関すること

- 生活支援
- 福祉サービスの紹介

生活全般に関すること

- 生活困窮
- 防災関係団体との協力 など

勉強会や話し合いをして、委員個人の資質の向上を図り、さらに1人では対応できないことは、チームで協力し支え合いながら活動しています。



▲勉強会の様子

住民に一番身近な支援の担い手として

刈谷市民生委員・児童委員連絡協議会会長 羽谷 周治

民生委員制度は今年で創設105年目となり、世界に誇れる日本の優れた制度です。2017年には天皇后陛下下のご臨席を仰ぎ、「民生委員制度創設100周年記念全国民生委員児童委員大会」が東京で挙行され、刈谷市でも記念式典を盛大に行いました。

現在の全国民生委員児童委員連合会の前身である全日本方面委員連盟初代会長は、2024年に1万円札の顔になる予定の渋沢栄一氏です。私たちは先人が築いた歴史と伝統を受け継ぎ、住民に一番身近な支援の担い手となって、地域住民に寄り添った活動を行っています。

民生委員・児童委員の主な役割は、地域の皆さんの困り事の相談に親身になって応じ、関係機関とのつなぎ役を果たすことです。特に、ひとり暮らしの高齢者などを訪問して、困り事や不安な事はないか、定期的に声掛けをしています。そのために「福祉活動の知識人」として、研修の機会などを通じて自ら学び、自覚と力量の向上に努めています。

コロナ禍により、従来どおりの活動が難しい状況ですが、電話訪問やコロナ対策を徹底した勉強会など、さまざまな工夫をこらしながら活動を継続しています。

今後も社会奉仕の精神をもって社会福祉の増進に努め、また、委員全員で力を合わせ、これからも努力・精進して行く所存です。どうぞよろしくお願いたします。

